



梅の花が芽吹き、寒さの向こうに春の訪れを感じる今日この頃。

我が家では日々変わることなくドタバタな毎日を過ごしています。長女は小学校入学を控えて何だか気持ちが不安定。ちょっと妹への口調が強かったり、ちょっとした事で泣いたり、予想に反することが起きると中々気持ちが切り替えられなかったり…。

小学生になるのはとても嬉しいようですが、それ以上に自分でもわかっていない中での不安が大きくあるのかなという様子です。3月31日までは保育園へ、4月1日からは学童へとたった一日で生活も大きく変わり、所属も変わる子ども達。見えない不安が大きいのもよくわかります。

頭ではわかっていながら、中々のマイペースさで一向に支度が進まない娘に「小学校へ行ったらこういうのも自分でやるんだよ」と突然保育園への準備全般を任せてみたり、いつまでも気持ちが切り替えられず不機嫌でいる娘に「そんな事でずーっと泣いていても小学校へ行ったら保育園みたいにじっくり話聞いてもらえないよ。」と言ってしまったりする私。

そんな時、愛読している子育てメッセージ集から心に刺さる言葉が…

「がまん、がまん ゆっくり聞こうね 子どものいい分」

見えない不安を与えてしまっているのは私かもしれないなあーと大きく反省。

一番寄り添ってあげられる立場なのに…小学校生活への見えない不安があるのは母親である私も同じなはずなのに。不安な気持ち、5年間通った親しみのある保育園や先生、友達と離れる寂しい気持ち、新しい環境への緊張感などなどゆっくり聞いてあげられてなかったなと胸が締め付けられる思いでした。

最近、長女は「ママとふたりでゆっくりじかんすごしたいな」とよく言います。

可能な時には2人でゆっくりお風呂に入ったり、次女が寝た後にゆっくり絵本を読んだり、休みの日に2人でお茶をしに行ったりしています。妹と一緒にいるときには見せない甘えた表情や嬉しそうな顔を見ると、こちらまで嬉しくなります。

新しい生活は喜び以上に不安が付きものだけれど、一緒に一つ一つ乗り越えて楽しい日々を送っていきましょう！

毎日の育児お疲れさまです！

